

正誤表

「消化性潰瘍診療ガイドライン 2026（改訂第4版 第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
xviii ～xix	図版	右図赤矢印の抜け落ち	<div style="text-align: center;"> <p>消化性潰瘍の治療フローチャート</p> <p>IVR : interventional radiology</p> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>NSAIDsあり LDAなし BQ5-12</p> <p>NSAIDsの投与継続^{※2} NSAIDsの中止</p> <p>NSAIDsの投与継続^{※2} VPZ/PPI 治癒 NSAIDs潰瘍予防フローチャートへ</p> <p>NSAIDsの中止 治癒</p> <p>H.pylori陽性 H.pylori陰性</p> <p>H.pylori陽性 除菌適応あり 除菌適応なし 残胃潰瘍</p> <p>除菌適応あり 除菌・潰瘍治療 除菌治療フローチャートへ</p> <p>除菌適応なし 非除菌潰瘍治療</p> <p>残胃潰瘍 PPI CQ7-1</p> <p>非H.pylori・非NSAIDs潰瘍 (IFUなど) 初期治療 LDA潰瘍予防フローチャートへ</p> <p>初期治療 VPZ/PPI 治癒 維持療法 CQ6-2 PPI/H₂RA</p> <p>二次・三次除菌不成功</p> <p>1) VPZ/PPI 2) H₂RA 3) 選択的ムスカリン拮抗薬もしくは一部の防御因子増強薬</p> <p>治癒 未治癒^{※3} 維持療法</p> <p>※1 : LDAは可能な限り休業しない ※2 : 禁忌である、中止不能のため、やむをえず投与する場合 ※3 : 特異性潰瘍を検討</p> <p>IFU : 特異性潰瘍 VPZ : 表アプラザン PPI : プロトンポンプ阻害薬 H₂RA : ヒスタミンH₂受容体拮抗薬 NSAIDs : 非ステロイド性抗炎症薬 LDA : 低用量アスピリン</p> </div>

2026年6月17日

株式会社南江堂